

平成 1 3 年 1 月 1 0 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 1 2 年第 7 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	: 平成 1 2 年 1 2 月 9 日 (実施機関: 京都大学)
	流況調査	: 平成 1 2 年 1 2 月 1 8 日及び 1 2 月 2 7 日
調査海域	伊勢湾	
	流況調査	測点 (別図参照)
調査船	測量船「いせしお」	(京都大学実施分は用船)
現地調査員	水路部水路課海象係長	木村 琢磨
	海象係員	山崎 哲也
	測量船「いせしお」船長	山本 常夫
	機関長	石原 信雄
	航海士補	渡部 千尋
	機関士補	福嶋 力
調査項目	流況調査	: 水温・塩分
資料整理	海象係長	木村 琢磨 海象係員 山崎 哲也

2 観測経過

1 2 月 9 日は、京都大学が用船を使用し、伊勢湾縦断・横断観測 (全 1 3 測点) を実施した。

1 2 月 1 8 日及び 1 2 月 2 7 日の両日共、天候・海上模様とも良かったため、全測点の観測を実施することができた。

3 海況（成果は別図参照）

今回は、月の初・中・下旬の観測結果が得られ、鉛直混合により伊勢湾内の成層状態が壊れていく過程が捉えられていた。

流況調査（伊勢湾）

12月9日（京都大学実施）

水温： St.1～2の層を除き全体的に平年にくらべ1～2 高かった。

塩分： 全体的に平年にくらべ1程度低かった。

12月18日

水温： 全般的に平年にくらべ1 程度低かった。

塩分： St.1～4の底層及び St.5の中・下層並びに St.6・7は、平年並みであったが、その他の地点は、平年にくらべ1程度低かった。

12月27日

水温： 全体的に、平年にくらべ2 程度低かった。

St.2～4の中層において、平年にくらべ等値線（13 ）が大きく下層に潜り込んでいた。

塩分： 全体的に平年並みであった。

水温と同じく、St.2～4の中層において、平年にくらべ等値線(32.0)が大きく下層に潜り込んでいた。

12月9日と27日の比較

全体的に大きく低温化していた。

St.1～4の下層及び St.5の底層並びに St.1～2の上・中層付近が低温高塩分水化していた。

St.4の中層付近が特に大きく低温化していた。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。